



市長 大場規之

## 静岡県



市章

## ふくろいし 袋井市



袋井市キャラクター  
フッピー

【データ】※令和6年4月1日現在

- ・人口：88,047人
- ・世帯数：36,913世帯
- ・面積：108.33k㎡
- ・市の花：コスモス
- ・市の木：キンモクセイ
- ・市の鳥：フクロウ
- ・特産物：米、茶、マスクメロン
- ・イベント：ふくろいし遠州の花火等

【連絡先】

- ・担当：総合健康センター健康未来課
- ・電話：0538-84-6127

### ◆袋井市の紹介



～日本一のマスクメロン～  
クラウンメロン

袋井市は、静岡県の西部に位置し、全国的にも日照時間が長く、豊かに広がる田園や美しい茶畑、市域を流れる太田川と原野谷川、更には遠州灘など豊かな自然環境に恵まれています。遠州三山(法多山尊永寺、萬松山可睡齋、医王山油山寺)に代表される古刹・名刹もあり、古くは、東海道五十三次のどまん中の「袋井宿」として栄えました。昭和44年の東名高速道路開通後は、米、茶、温室メロンに代表される農業に加え、工業、商業の集積が進み、農業・商業・工業のバランスがとれた田園型都市として発展を続けています。

### ◆日本一健康文化都市宣言

袋井市は、合併前の平成5年11月に「日本一健康文化都市宣言」を行い、平成17年の合併後は、市制施行5周年を機に、新たに「日本一健康文化都市宣言」を制定し、平成28年に「日本一健康文化都市条例」を制定しました。本市の理念である「日本一健康文化都市」の実現に向けて「心の健康」「からだの健康」「まちの健康」を推進し、全ての市民が幸せで笑顔でいられるまちであることを実感できるよう取組を進めています。

#### 日本一健康文化都市宣言

～人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市～

青く輝く海原と緑あふれる大地に抱かれ、先人によって築かれたふるさとふくろいを、わたしたちは受け継いできました。

この恵まれた地域で、心やからだの健康を増進することはもとより、健康生活を支える自然を守り、地域社会を充実させていくことも、わたしたちみんなの願いです。

わたしたちは、健康意識を高くもち、一人ひとりが「心の健康」、「からだの健康」、「まちの健康」を追求し、すべての人びとを幸せにしていきます。

わたしたち袋井市民は、住んでよかったという喜びを実感できるまちを目指し、ここに袋井市を日本一健康文化都市にすることを宣言します。

平成22年5月16日

## ◆静岡社会健康医学大学院大学との連携



本市が目指す「健康寿命日本一の実現」のため、袋井市民を対象とした詳細な健康調査と追跡調査から、同種の病気になった人の共通点を探り、食生活や生活習慣などのリスク因子の解明・予防に役立てていくほか、健診機会を拡大することで、特定健診受診率の向上を図るとともに、多様な検査をすることで、疾病の早期発見・早期治療に結びつけ、市の健康課題の把握及び疾病予防に繋げていくことを目的として、静岡社会健康医学大学院大学と連携し、「ふくけん！健診ミニ」と「ふくけん！健診」を実施しています。

<ふくけん！健診ミニ>

【実施期間】令和5年5月23日～12月22日

【参加者】966人

【検査項目】骨密度、サルコペニア検査（身長・体重・体組成・握力・椅子起立試験）

<ふくけん！健診>

【実施期間】令和6年2月1日～3月1日

【参加者】888人

【検査項目】血液検査、尿検査、頸動脈エコー、眼底検査、視野検査、握力、骨密度検査、体力測定等（希望者には、MRI検査やCT検査）

## ◆働く世代への野菜摂取の推進

本市では、働く世代への健康アプローチとして、市内の事業所・団体に対して、市が運動指導者や保健師・栄養士などを派遣し、手軽にできる運動の紹介や健康に関する話をする出前健康教室を実施しており、その中で野菜摂取への関心や意識を高めてもらうきっかけになるよう、推定野菜摂取量を測定できる機器を用いて教室を開催しています。



## ◆◆フッピー健康ポイントシステム「#2961ウオーク」の推進



フッピー健康ポイント事業（健康マイレージ制度）については、平成30年度から誰でもいつでも取り組みやすく、取組効果が分かりやすい「歩く（歩数）」を主としてポイント化するシステム「#2961ウオーク」にリニューアルし活用を推進しております。

また、歩数以外にも特定健診等の健診受診ポイントの増加など、社会環境に応じた取り組みを推進しており、今後も更なる登録者数の確保や事業の推進に努めていきます。